

令和6年度 第1回学校運営協議会 報告

- 1 会議 令和6年7月10日(水) 14:00~15:30
大阪府立北千里高等学校 探究教室Ⅰ
- 2 出席者 会長、委員3名、校長、事務局5名 計10名(委員2名欠席)
- 3 次第
 - 1 会長および副会長選出
 - 2 会長挨拶
一年間みなさんのご協力のもと務めたい。よろしくお願ひしたい。
 - 3 校長挨拶
学校全体として一番大事なのは授業で、生徒たちの学力を引き上げることになる。その手前のところで、子どもたちにどのような力を付けさせるのかを考える必要がある。それを考えるために学校全体を俯瞰的に見るためのプロジェクトチームがある。それが将来構想検討委員です。この委員会を中心に、先生間で工夫を教える会などを設けている。
主役はやはり子供なので、子どものためにできることを一緒に考えていきたいです。
- 4 協議
 - (1) 本年度学校経営計画について 別紙資料
(質疑・提言)
 - ・働き方改革として、先生方の部活動指導はどうなっていますか。中学校では、土日の部活動指導は切り離し、外部指導員で行っているところもあると伺いますが、高校ではどうですか。
→部員が少ない学校間をペアリングして、A高校の生徒がB高校に行き、一緒に部活動をする。その際、A高校の教員は付き添う必要がない、といった大阪モデルという取り組みがある。
 - ・部活動の外部指導員はもっと増やして欲しい。指導者がいることによって、子どもたちのモチベーションアップにもつながる。PTAができることは、お金の援助をすることぐらい。
→保護者の声はなかなかダイレクトに管理職にまでは届かないので、そういった声はどんどんあげて欲しいです。
 - (2) 学校の取組について
 - ・北千里生を育成するにあたって
将来構想検討委員会からの発信。北千里高校として、どのような生徒を育てていくのか、教員一同このようなことをめざして取り組んでいる、という方針を、入学式の際に、生徒と保護者に示していくべきだという考えに基づき、教員研修を実施して、北千里生の強みや伸ばしたい力を話し合い、それをもとに文章化。入学式の生徒退場後の保護者へのお話の際に、学年主任から説明する。

・昨春の進路状況について 別紙資料

・その他

国際交流について

昨年度に引き続き、教員が付き添わないオーストラリア語学研修

台湾 永春高校との訪問来校 再開

(質疑・提言)

国際交流や地域交流では、活発な生徒が色々経験をし、そうでない生徒と格差ができてい
るのでは。

→普段活発でない生徒も一部強制されてやることにより、色々な経験をすることもでき
ている。

(3) 令和7年度使用教科用図書 選定報告

別紙資料参照(選定一覧、選定理由一覧)

見本本の提示

(4) 質疑・意見交換および提言

授業が大事という話がありましたが、時間がない中で、研究授業等を行っているのでし
ょうか。

→他校では初任研や10年研を研究授業として行っているが、本校では、それと合わせ
て、将来構想検討委員会が、6月・11月を授業見学月間とし、自由に他の先生の授業
を見る機会を作っている。また、11月には公募で研究授業・研究協議を行っており、
かなり多くの先生方が見に来られている。

(5) 令和6年度学校経営計画及び令和7年度使用教科用図書選定について承認。

(6) その他

今回は11月頃。授業見学も合わせて行う予定。